

じゅう劇場 倉吉公演

これまで「三人姉妹」「ロミオとジュリエット」「銀河鉄道の夜」などの作品に取り組んできたじゅう劇場の3年ぶりの新作です。

シェイクスピアの「マクベス」の世界に、出演者の実体験を織り交ぜ、マイノリティーと権力の関係を考えます。

鳥の劇場

BIRD Theatre Company TOTTORI



じゅう劇場 3年ぶりの新作。

じゅう劇場

マクベスから

さまよい

出たもの

Things wandering off "Macbeth"

倉吉公演

2020
1/24 金 19:00

25 土 14:00

倉吉未来中心小ホール

※予約受付は12/21日より

English
subtitles
available

構成・演出..中島諒人
『配役』台本..永山智行

木山紅葉、國岡由佳梨、島田ひかる、
武内美津子、西垣伸子、福角幸子、
福角宣弘、藤木恵子、三好眞比郎、
山本英子、和田尚也、齊藤頼陽、
高橋等、安田茉耶

じゅう劇場とは？

じゅう劇場は、鳥の劇場のプロデュースのもと、2013年8月に活動を開始したプロジェクト。障がいのある人、ない人がいっしょに舞台を作り、日常生活では隠れがちなそれぞれの豊かさを発見し、その素晴らしさを観客と分かち合うことを目指します。今年で7年目の活動です。

毎年参加者を公募し、継続的な参加者と新規の加入者が混じりながら創作しています。今年は、総勢17名の出演。

演劇は協働的な芸術であり、参加者相互の信頼と深い関わり合いが必要とされます。じゅう劇場は、我々が築かなければならぬ共生社会を先取りした風景を観客に提示することを目指しています。

公演会場・日時

2020
1/24 金 19:00
(18:45 開場)
25 土 14:00
(13:45 開場)

倉吉未来中心小ホール

鳥取県倉吉市駿経寺町212-5
(倉吉パークスクエア内)

アクセス案内▼

¥ 大人 1,000円
18歳以下 500円
小学生以下 無料



感想

時代の流れに沿った内容をタイムリーに観させていただきました。「脳天直撃」のような言葉に出てこないこの感覚、素晴らしい。ずっと続けて欲しいです！（30代女性） / しゃべるということのその肉体のあり方、使い方、振る舞い方に、自分の体も反応していた。（40代男性） / 障がいのあるなしに関わらず自分を表現するエネルギーは人に感動を伝えますね。（50代男性）

お問い合わせ・お申込み

予約開始日時：12/21 10:00から

じゅう劇場をご鑑賞の方は電話、FAX、E-mail、WEBのいずれかで事前にお申し込みください。定員になり次第締切となります。

電話/FAX: (0857) 84-3268 Email: ticket@birdtheatre.org WEB: <https://www.birdtheatre.org/reserve/>

※ご予約の際は、お名前、お電話番号、日程、チケット種類＆枚数をお伝えください。

FAXお申し込みフォーム（鳥の劇場 0857-84-3268）

お名前：

お電話番号：

日程： 1/24 金 ◆ 1/25 土 チケット種類： 一般（枚） ◆ 18歳以下（枚） ◆ 小学生以下（枚）

手元字幕希望：（日本語：台／英語：台） 備考：



バリアフリーをめざします

■障がいのある方にもご覧いただけるよう、適宜対応しております。ご予約の際にお伝えください。
■耳が聞こえづらい方のために、手話通訳と手元に持てる小さい字幕を用意しております。